

職員提案制度における平成31年優秀提案について

平成31年は85件の職員提案があり、下記のとおり、知事より優秀提案を決定いただきました。
3月25日（水）に知事から各提案者に賞状の授与が予定されております。

つきましては、下記優秀提案について、各職場において周知を図られ活用されますよう、お願いいたします。



○ 優秀提案の件数

優秀賞：県政課題の解決や業務の改善等に貢献する提案 3件

奨励賞：優秀賞には至らないが、県政課題の解決や業務の改善等に貢献する提案 3件

○ 優秀提案の概要

【優秀賞】 3件

提案名	VDT作業を多く行う担当への外付けディスプレイの導入の推進	
提案者	村山総合支庁 森林整備課 林業普及指導員 荘司 和也（しょうじ かずや）	
提案概要	<p>統計調査の取りまとめ等でVDT作業(情報機器作業)を行う際、一人一台PCのみでの作業はデータシートを頻繁に切り替える必要があり、非効率的な作業となっている。</p> <p>そこで、VDT作業を多く行う担当者に対して外付けディスプレイを導入し、取りまとめ業務にかかる作業時間の短縮、VDT作業の負担軽減及びペーパーレス化によるコスト軽減を図る。</p>	 <p>パソコン 外付けディスプレイ</p>
提案名	非常事態に備え、本庁職員初動マニュアルを携帯しよう	
提案者	商工労働部 産業政策課 鉱政専門員 高野 晃一（たかの こういち）	
提案概要	<p>「大規模災害・国民保護対策時の本庁職員初動マニュアル」をPDF化して配布し、職員はスマホやタブレット等の通信機器にデータを取り込み常時携帯するようにする。</p> <p>事前にマニュアルデータをこれら機器に取り込むことで、いざというとき確実に目を通すことができる。</p> <p>これにより、マニュアルを携帯する職員が増え、目を通す機会も増える。さらにマニュアルの印刷・製本代も削減できる。</p>	 <p>初動マニュアル</p>
提案名	緊急時支援職員の登録	
提案者	河北病院 技師長 丹野 則子（たんの のりこ）	
提案概要	<p>専門職員の退職時に本人の意思確認を行い、病院の職員体制に一時的な不具合（インフルエンザによる職員の欠員発生時の緊急支援など）が生じたときの緊急支援について協力の可否を募り、登録してもらう（自衛隊の退職者のイメージ）。緊急時に支援をお願いできる職場経験者の人員を担保していることで職員にも心に余裕ができ、患者サービスの向上につながる。</p>	

【奨励賞】 3件

提案名	山形県キャラクター等のLINEスタンプの販売について
提案者	健康福祉部 障がい福祉課 予算主査 五十嵐 健裕 (いがらし たけひろ)
提案概要	<p>ペロリン、きてけろくんなど商標登録済みキャラクターを活用し、LINEスタンプを販売し、県の歳入増につなげる。実施方法は、ペロリン、きてけろくんの静止画・動画を活用し、「おはよう」「今日もがんばりましょう」など使いやすいコメントをつけて100～200円で販売する。</p> <p>また、季節限定のキャラクターも随時追加販売する。山形県キャラクターが日常会話の中で使用されることで、山形県や県施策の発信につながる。</p>

提案名	共有ジャンク・ヤードの設置及び活用による需用費の支出削減と「もったいない」意識の醸成
提案者	庄内総合支庁 生活衛生課 管理栄養士 鎌田 春菜 (かまた はるな)
提案概要	<p>庁舎内の廃棄物置き場等の一角に共有のジャンク・ヤードを設けて、死蔵品やジャンク扱いとなった全所属の事務用品を一定期間集約して公開し、各所属から利用できる物品を選択してもらうことで、再利用の推進を図る。</p> <p>一定期間公開し、再利用等の成果がなければ通常どおり廃棄するだけなので、新たな業務や不利益は生じない。</p> <p>また、少量多種の事務用品を利用している小規模な所属にとっては、支出削減につながる可能性がある。</p>



イメージ

提案名	その公印、本当に必要ですか？
提案者	農林水産部 6次産業推進課 主査 横澤 遼 (よこさわ りょう)
提案概要	<p>本庁共用車を借用する際に必要な「共用車使用申込書」の所属長公印の押印を廃止する。申込書の様式上、課長の決裁が必要となっており、申込みを行う時点で所属としての意思決定はなされている。</p> <p>また、当該文書は行政機関内部の文書であることも踏まえれば、公印を押印する必要性は低いものと思料される。申込みを電子メール等で行うことも可能となり、業務の効率化及び資源の節約が図られる。</p>